

ようこそ“はまゆう会”へ、あなたは大丈夫です

いつもの流れのなかで変化の兆しがあると、そこに集う人々は新たな動きを始めます。別れゆく人もあれば新しい出逢いと新たな一步を踏み出す人もいます。10 数年前の相生プロジェクト（リハビリ、ケアハウス）の時も多くの出逢いがありましたが、少なからずの別れもありました。総じてご縁というか、はまゆう会が成長していくのに欠かせない多くの人材が育ちました。今春もいつもとは違った楽しみの多い動きが感じられます。

福島原発事故でふる里を失った人達のことを描いた“希望の国”の映画を観ましたが、私にとっては希望と程遠い落し所の無いストーリーに感じられました。人生は時が過ぎゆくままに何かを捨てつつも、また何かを拾っていくものだともいわれます。希望とはそれぞれの人生のストーリーの中にある物語といわれます。人は希望を抱きつつも喪失や挫折を経験し、人生のストーリーの中で希望の修正をしていきます。“思い出のアルバム”の曲のようにあなたは小学生の頃どのような仕事を望んでおられましたか、新幹線の運転士さん、プロ野球の選手、保育士さん、それとも看護師さん・・・、では中学生、高校生の時はいかがでしたか。今日ここでの自分は・・・いかがですか。

ようこそ“はまゆう会”へ、心から皆様を歓迎いたします。

あなたは“はまゆう会”という新たなひとこまに、偶然はまってしまいました。良かれ悪しかれ思い出深い節目に、はまゆう会とのご縁が結ばれました。何も心配なことはありません、あなたは大丈夫です。

平成26年4月1日

医療法人財団はまゆう会
理事長 市丸 喜一郎

